

新大

社会人二年生として



中台生 大木教生さん

中学校を卒業して五年、久しぶりに逢った友達、名前が直ぐに思い出せなかったり、少し美人になった女の子など、みんな元気で逞しく見え、それぞれ自分の道を歩んでいるんだなと感じました。

町長さんをはじめ、ご来賓の方々のご祝辞や激励のお言葉を頂き、自分にとっても励みとなりました。いままでは、恩師の先生や両親及び地域の皆さんの温かい思いやりのもとに毎日を生活してきました。

これからは、自分の判断で行動し、責任と自覚を持ち、他人に迷惑を掛けないという、社会人としての基本的な規則を守っていく事が大切だと考えます。戦後五十年という節目の年に、成人の日を迎えたことは、意義のあることと思います。世界に類例のないほどの経済成長をした日本は、科学が進歩し、物質的には豊かな社会となりましたが、精神的には貧しい社会状況と云われています。自分の身の回りを確かな目で捉え、思いやりの心を大切に、地域社会に貢献できるような努力したいと思います。

みなさんの抱負について



木戸台 伊藤彰子さん

私が二十歳の誕生日を迎えてから半年以上経ちましたが、成人式を迎えてあらためて一人前の大人になったのだと実感しています。そしてこの広報原稿の依頼に際し、これからの抱負を色々と考えさせて頂きました。私の成人としての抱負は、ま

ず今までの勝手気ままな生活を脱し、責任ある行動をとるということです。学生の私は好きなテニスを楽しみながら、社会人の姉と共同生活をしています。やりたい事を思いきりやっているのは良いのですが、生活や家の仕事がいい加減になってしまふのです。全てに完璧を求めることは無理というのですが、ちょっととした心掛け次第で人に迷惑を掛けない行動がとれると思います。つまりは、ちょっと姉に頼り過ぎているということ

です。色々な人に色々な話をきけば、自分の興味も広がり、やりたい事が見つかるかもしれません。相手を思いやり、気を配り、周囲の状況を判断して行動していけば、きっと素晴らしい女性になれるでしょう。そして素晴らしいパートナーと幸せになれるはず。同級生で結婚している人も、赤ちゃんのできた人もいる中で、まだまだ子供みたいな私ですが、この二つをしっかりと実行していきたいと思



受け付け場所では「久しぶり、元気だった？」という声がたくさん聞かれました



新成人代表で「誓いのことば」を述べる大木教生さん（中台）